

宮川小学校 コミュニティ・スクール推進計画

1 ねらい

学校と地域諸団体・地区の方々との連携をはかり、児童が地域の力を借りながら育つ環境作りを行ったり、地域を知ったり、豊かな体験を行ったりできるよう計画する。

2 本年度の重点

(1) 宮川小コミュニティ・スクールの推進

・学校運営協議会や地域学校協働本部会を開き、共通理解の下推進していく。

(2) 重点：「元気よくあいさつできる宮川の子」

・様々な立場の人が、「宮川の子どもをよりよく育てたい」という願いのもとそれぞれの活動を行っている。共通で目指せる子どもの姿として取り組んできている。

・学校としては、登校してから、学校の先生や友達に「おはよう」と挨拶する子どもたちが100%になるように取り組む。

3 運営内容および具体的方策

(1) 宮川CSの運営

詳細は要綱を参照。下記の日程で推進していくが、必要に応じて学校運営協議会や地域学校協働本部会（学校支援ボランティア全体会や部会）を開く。

日程

期 日	曜日	時刻	内容
5月10日	水	17:30～ 18:00～	宮川小CS準備会 ・重点について ※学校運営協議会の準備 地域学校協働本部会（学校支援ボランティア全体会）①
5月19日	金	13:40～ 14:00～	チャレンジタイム 宮川小CS学校支援ボランティア「紹介の会」（代表の方のみ） 5時間目 授業参観（ご希望により自由参観）
6月16日	金	17:00～	宮川小CS学校運営協議会① ・学校経営方針の説明 それに関わる意見交換
10月中			それぞれの部会の中間反省会 （各部会の学校担当者と連絡を取り合い開催）
12月13日	水	17:30～ 18:00～	宮川小CS学校運営協議会② ・宮川小の教育活動について ・学校評価について 地域学校協働本部会（学校支援ボランティア全体会）②
2月21日	水	17:30～	宮川小CS学校運営協議会③ ・本年度のふり返りと来年度への展望

(2) 地域学校協働本部 （学校支援ボランティア）

ア 学び合い隊

学習支援に必要な場面で授業に入っていただく。かけ算九九カードの聞き取りや、裁縫、ミシンの補助、習字の補助など、普段「もう少し人がいれば有り難い」と思う場面で気軽に入っていただく。

※支援までの手順

- ① 前週の学年会で検討いただき、金曜日までに、担当者に学習支援が必要な場面と日時を提出していただき、一斉配信メールにて伝える。
- ② メールを確認していただき、支援できそうな内容、日時を学校代表者の方にメールで送っていただく。
- ③ 学校代表者の方は、それをとりまとめて、メールか文書にて学校に知らせいただく。
- ④ お知らせいただいた日時でどの方が支援に来て下さるかを学級担任に伝えて、支援を行う。支援者についてもメールでお知らせする。
- ⑤ 年行事などあらかじめわかっているものは、もっと早めに連絡をする。

スローガン「できることを できるときに できるところから」

- ① 子どもの個人情報に関しては、守秘義務を守り、絶対に口外しないでください。
- ② 担任が話しているときは、子どもへの声かけ、注意は避けてください。
(アイコンタクトや身振り・手振り、紙に書いて伝えるなどでしたらよいです)
- ③ 集中を欠く子どもがいるときは、そばで見守りながら支えてください。
- ④ 気がかりな点や気づいたことがありましたら、口頭、メモなどでお伝えください。
- ⑤ 子どもが自ら取り組むような支援を心がけてください。
- ⑥ 学校の方針や運営上の問題について、質問・意見があるときは、学校長やコーディネーターにお話してください。

【学校側として】

- ・地域の子どもたちの教育活動に、ボランティアで参加して下さっている方々へ感謝の気持ちを大切にしていきます。
- ・より有効な支援をしていただけるように、より具体的をお願いしていきます。
- ・学校側も学び合い隊の方もお互いに「よかった」と感じられるような関係を大切にしていきます。

イ おはなしプレゼント

毎週金曜日の朝の読み聞かせ、年に一度のパネルシアターを実施している。週に一度の読み聞かせの後、第二図書館で毎回反省会を行っている。会の中での意見がより学校運営に反映されていくように、担当者との連携を図っていききたい。

ウ 安全見守り隊

茅野市に「安全見守り隊」として登録していただいている方は、ボランティアで毎朝街頭に立って頂き、横断などの支援をして下さったり、下校の見守りをして下さる方もいる。また、児童と一緒に歩いて学校まで付き添って下さったり、雪かきをして下さっている方もいる。これらの方のおかげで児童は安全に登下校している。高齢化もあり、人数の減少が見られる。募集をかけて見守り隊を増やしていききたい。

エ 放課後支援(児童預かり)

参観日の学級懇談会に出席しやすいように、1, 2年の児童の保護者のみ、図書館で懇談会が終わるまで、民生委員の皆さんに児童の預かりをして頂いている。今後は更に、下校時刻とバスの時刻が離れている時に、教室で待機児童の宿題の面倒を見て頂くなどの方向も考えていききたい。

オ 栽培活動支援(米・花・野菜)

5年生の米づくりを中心に支援していただいている。今後は更に、花壇・畑での栽培活動にも対応していただけるように考えていききたい。

カ 家庭教育支援

子どもたちの健やかな成長のため、必要に応じ家庭への支援も考えていききたい。また、11月の学校保健委員会にも参加・協力をお願いする。

(3) その他

- ①宮川ドリームゼミ・・・学校と地域が連携して、キャリア教育に努める。
- ②開かれた学校づくり事業・・・学社連携として、学校外の人やもの・ことに学ぼうという事業。コミュニティ・スクールの機能を活かしながら人材発掘と活用につなげられるような工夫を。
- ③学校開放講座事業・・・中学校区で2～3講座程度。地域の要望と学校の実情を考慮して検討。(PTA会員以外にも開催発信していく)

宮川ドリームゼミ

1 ねらい

- (1) お仕事ゼミを通じて、地域を知る。
- (2) 地域に根付いた企業の方々に講師としてご協力いただき、地域を知ることでキャリア教育に役立てる。
- (3) 子どもたちの未来に対する期待感への種まきをし、夢と希望をふくらませる。

2 期日 令和5年10月11日(水) 午前中

3 運営内容および具体的方策

(1) 内容

- ・宮川地区や茅野市で働かれている方や専門的な知識・技術をおもちの方や子どもたちがなりたい職業の方々に講師としてお招きし、全校児童が様々な職業を体験できる講座を開く。
- ・1, 2年はクラスごと、3～6年は20名ほどの縦割り班を作り、講座の体験をする。

(2) 推進日程

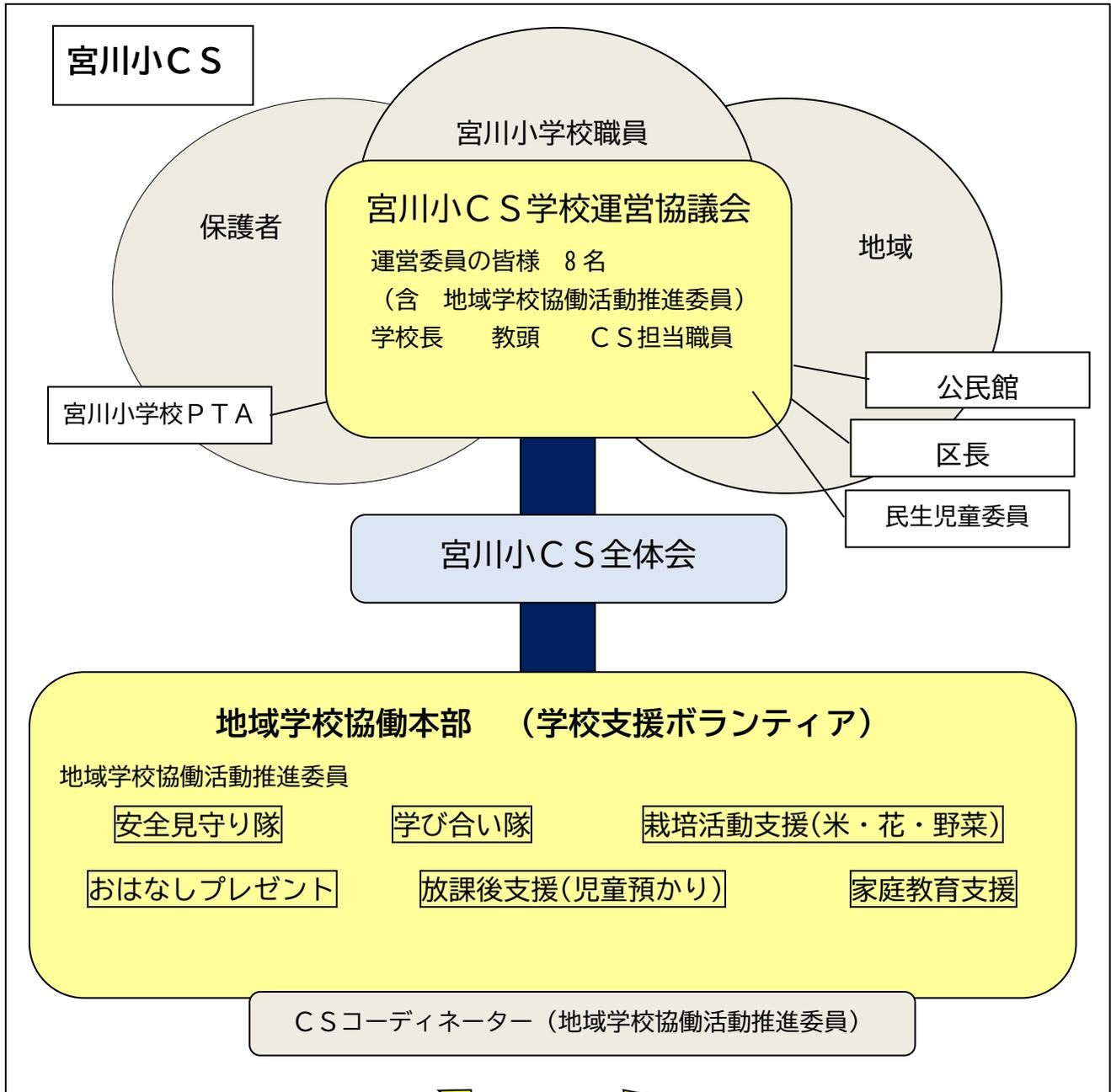
期日	曜日	内容
4月		講師依頼開始
5月10日	水	CS準備会で説明。学び合い隊を中心に講座運営の協力をお願いする。必要があれば講師依頼の協力もお願いする。
7月27日	木	講師・職員の打ち合わせ会①
9月8日	金	講師・職員の打ち合わせ会②
9月中旬		児童がどの講座を体験したいかアンケート調査を行う。そのアンケートをもとに3～6年の縦割り班を作る(1, 2年はクラスごと体験するのでアンケートはとらない)。
9月下旬		縦割り班のリーダー会を行い、リーダーの役割や注意事項等について確認する。
10月3日	火	児童顔合わせ会を行い、縦割り班のメンバーと体験講座についての確認をする。
10月11日	水	宮川ドリームゼミ当日(AM開催)
10月中		講師の方へお礼の手紙を作成し郵送する。

(3) その他

- ・今年度はCSの学び合い隊の方に講座運営の協力をお願いする。人手が足りない場合はPTA役員にも協力していただく。

宮川小コミュニティ・スクール（イメージ図）

1 組織 ～連携し合った組織～



- ・三者で、「職員の声」「子どもの声」「部会の声」「保護者・地域の声」を受け、支援内容を確認し対応していく。
- ・各部会の計画のもと運営しながら、支援連携に対応していく。